

財団法人新潟県都市緑花センター 平成19年度事業計画

1 センター事業会計事業計画

財団法人新潟県都市緑花センターの基本財産の運用益等により、「緑豊かなまちづくりに向けた緑花の推進」「ISO 環境マネジメントシステムの推進」「県民とともに公園を育てる」をキーワードとして事業を行います。

(1) 都市緑花に関する調査及び研究事業

① 効果的な緑花推進事業に関する調査研究

新潟県、県内各市町村及びにいがた緑の百年物語緑化推進委員会をはじめとする各種団体により、様々な緑花推進事業が実施されています。新潟県内における事業内容の重複や実施効果が明確でない等の課題を解決するため、より効果的な緑花推進事業についての調査研究を行います。

② ISO14001 環境マネジメントシステムの更新及び認証範囲拡大

平成16年12月に認証取得した環境マネジメントシステムの更新にあたり、更なる発展に向けた取り組みを行います。また、スポーツ公園指定管理者として、スタジアムをサイトとして追加し、認証範囲の拡大を図ります。

③ 公園利用調査及び都市緑花に関するニーズ調査

利用者ニーズを踏まえた公園管理の推進と、都市緑花等に関する多様な県民ニーズを把握するため、情報管理計画に基づきアンケート調査を継続します。

④ 各種マニュアル類の整備

公園利用者への迅速な対応を可能とするため、「苦情・要望対応マニュアル」や「遺失物管理マニュアル」等の作成を行います。また、過去に作成した各種マニュアル類について見直しを行います。

(2) 都市緑花の普及及び啓発事業

① ボランティア等人材育成事業

これからの公園管理において必要な、地域住民やボランティア団体との協働による公園づくりに向けて、組織のリーダーとなるべく人材の育成を目指したボランティア育成講座を開催します。なお、講座における講師は、花と緑のアドバイザーを積極的に活用していきます。

② 園芸福祉活動支援事業

新潟県内でも任意団体が設立され、活況を帯びてきた園芸福祉活動に対し、講座開催時における人的支援や活動場所提供など、積極的な支援を行います。

③ 花と緑のアドバイザー派遣制度

花と緑のアドバイザーを各種開催団体が実施する緑花講演会、緑花学習会等に派遣するとともに、センターが企画する自然観察会等においても積極的に活用します。また、情報交換や相互の技術向上を図るため交流会を開催します。

※平成19年度より、当センターにおいて執行に関する業務を行います。

④ 広報活動の充実

都市緑花の意義や当センターの活動状況等、情報を広く県民に提供するため、情報誌 (Green sketch) とホームページの充実を図ります。ホームページは、指定管理者となった各公園の独立によりリニューアルすることとし、センター事業について、より積極的な情報の公開、提供を行います。

情報誌発行時期： 第 35 号/6 月頃 第 36 号/9 月頃
第 37 号/12 月頃 第 38 号/3 月頃

ホームページアドレス： <http://www.greenery-niigata.or.jp>

⑤ 公園緑地シンポジウムの開催

公園及び緑地のあり方やフィールドとしての活用方法、管理者と利用者それぞれの立場で抱える問題点に対する課題解決について考える場として、公園緑地管理財団や新潟県、市町村と連携し「公園緑地シンポジウム」を開催します。

⑥ 写真コンテストの開催

まちの中の緑や花を増やし、守り育てる意識を高めるため、都市公園の魅力、植物の生態など、写真を通して都市緑花の普及啓発を図るためのコンテストを開催します。

平成 18 年度都市公園・植物園写真コンテスト新潟県知事賞

花と緑部門 「ボタン日和」 白石 正夫さん
風景部門 「夕刻の散歩」 小形 俊幸さん

(3) 都市緑花の保全及び推進事業

① 緑花モデル事業支援

鳥屋野潟の湖畔ザクラ保全事業や校庭芝生化事業など、緑地の保全や緑花推進のモデルとなる市民活動に対して、効果的な支援を実施するため、「NPO 法人わかば」と連携し、ニーズ調査や具体策の検討、実施を行います。

② 花と緑のパートナーづくり事業

緑豊かな潤いあるまちづくりを推進するため、ボランティア団体、企業、民間団体や学校等が実施する緑花活動に対して助成します。

③ 街路樹植栽基盤マニュアル及び樹木健全育成マニュアルの周知

当センターが発行する「街路樹植栽基盤マニュアル」及び「樹木健全育成マニュアル」について、行政や造園関係者による研修会を開催し周知を行います。

2 鳥屋野潟公園事業会計事業計画

新潟県都市公園条例第15条の3第1項により、県立鳥屋野潟公園（新潟県スポーツ公園）の管理・運営をアルビレックス新潟・都市緑花センターグループとして行うもの。

(1) 事業の概要

都市公園名	所在地	管理施設	H19 予算額	H18 現形予算額	増減	対前年 比
			(A)	(B)	(A-B)	
鳥屋野潟公園 スポーツ公園	新潟市 清五郎 地内	東北電力ビ ッグスワン スタジアム	347,323	335,893	11,517	103.4%
			20,995	20,995	0	100%
		園地48.4 ha	175,943	276,175	▲100,232	—

(2) 事業計画

①東北電力ビッグスワンスタジアム

a) 管理運営の基本方針

ア) 県内スポーツの殿堂として

質の高い競技会等の観戦機会を県民に提供するため、国際大会、全国大会の誘致を積極的に行うほか、県内のスポーツを振興するための運営を行っていく。

イ) 文化・イベントの舞台

コンサート等の大規模イベントの誘致を積極的に行うとともに各種のスポーツ、レクリエーション、文化教育活動の交流拠点を形成していく。

b) 運営内容（新規事項）

ア) 陸上個人利用、会議室の夜間利用を可能とします。（7月から11月まで）

・現行（9：00～17：00）⇒変更（9：00～21：00）

イ) アルビレックス新潟ホームゲームとのコラボレーションによる「毎試合が祭り」とした参加型イベントの実施

ウ) スポーツマーケティング講座の開設

エ) スポーツボランティアの組織づくり

c) 利用計画

スタジアムでのスポーツ大会を中心として、引き続き次の利用を図るとともに、より多くの県民に利用・観戦の機会を提供できるよう努める。

ア) 競技スポーツ大会（サッカー、ラグビー、陸上競技）

イ) 各種スポーツ大会

ウ) 文化イベント

エ) 自主企画イベント

ビッグスワンフェスタ、秋のスポーツ公園まつりなどの開催

オ) 各種スポーツの練習利用

②園地

a) 管理運営の基本方針

ア) 国体成功、スポーツの拠点として

芝生専任スタッフによる多目的運動広場の管理を行い、利用者に良好な芝生環境を提供すると共に、国体に向け、「財団法人新潟県体育協会」と連携を図り、強化練習場への対応など積極的に協力を行う。

イ) 文化・イベントの舞台

県内随一の集客力を誇る公園内で、観察会や公園まつり等のイベントを開催し、交流の場の形成を図ると共に、スポーツや文化活動の拠点としての場の提供を促進する。

ウ) 貴重な自然と財産を次世代のために

自然豊かな鳥屋野潟と公園が一体となるよう景観形成を図り、魅力ある空間を創出し、利用者の満足度を高めると共に、次世代を担う子供たちに自然・緑の大切さを学ぶイベントを開催するほか、学校等へ情報提供を行い、総合学習等の場としての利用促進も図っていく。

エ) 地域活性化に向けて

「ながたの森活動会」を自主運営型にするための支援や、「近隣小学校」、NPO等と連携し住民参加活動の充実を図ると共に、地元の自治会や商工会、JA等との連携によるイベントを開催し地域の活性化につなげていく。

オ) 安全安心な大規模都市公園

誰もが安全で安心して公園を利用できるよう、「公園一斉清掃」や「犬の躰け方教室」等のマナー啓発イベントを実施し意識の高揚を図ると共に、巡回パトロールの強化による指導を行い、子供の安全や防犯等にも留意していく。また、「公園巡視員制度」を創出し、マナー違反等への抑止を図る。

b) 重点的な取り組み

ア) 修景軸のカナールのイチョウ等の健全育成による景観の魅力アップと、利用者に安らぎを与える花壇管理

イ) 芝生専任スタッフでの細やかな管理による、有料施設としての多目的運動広場のレベルアップ

ウ) 地域・住民との連携の充実（「ながたの森活動会」の自立支援や、地域住民等との連携による公園まつり等イベントの開催）

3 紫雲寺記念公園事業会計事業計画

新潟県都市公園条例第15条の3第1項により、県立紫雲寺記念公園の管理運営を当センターが行うもの。

(1) 事業の概要

(単位：千円)

都市公園名	所在地	管理面積	H19 予算額	H18 現計予算額	増 減	対前年比
			(A)	(B)	(A - B)	
紫雲寺記念公園	新発田市藤塚浜地内	71.0ha (内H19 供用面積 1.1ha)	(144,253)	(143,544)	(709)	(100.5%)
			101,554	100,845	709	100.7%

※上段 () は全体額 (屋内運動施設管理費 42,699 千円を含む)

(2) 事業計画

① 管理運営の基本方針 ～通年観光公園を目指して～

a) “おもてなしの心” でサービスを提供

誰にでも公平なサービスの提供を図るため、職員の接遇面の向上や施設の活用方法を再検討し、利用者の利便性の向上を図り、全体的に顧客満足度を高めて利用増進に努めます。

b) 安全・安心な利用に向けて

誰でも安全・安心して利用できる細心の注意を払った管理運営を行っていきます。

c) 周辺の自然環境との調和

白砂青松の美しいこの地域を虫害や松枯れから守り自然環境の保全・育成に努めます。

d) 健康増進のために

健康・運動公園として、プールの供用時間の延長により利便性を拡大し、屋内体育施設の利用の増進を図ります。

e) 地域の人たちとともに

花壇へのチューリップ植えなどでNPOや地域住民と作り上げた協働活動の輪を大きくし、“みんなの公園”の意識を育てていきます。

f) 地域の活性化に向けて

紫雲寺記念公園の管理運営を担い、地域発展のため「潤いに満ちたまちづくり」に寄与していきたいと考えています。

(3) その他

地域住民との連携・協働による公園管理に向けた取り組みや公園の特性を活用した観察会・体験会の開催及びイベント事業への参加、誘致を行っていきます。

4 大潟水と森公園事業会計事業計画

新潟県都市公園条例第15条の3第1項により、県立大潟水と森公園の管理・運営を当センターが行うもの。

(1) 事業の概要

(単位：千円)

都市公園名	所在地	管理面積	H19 予算額	H18 現計予算額	増 減	対前年度比
			(A)	(B)	(A－B)	
大潟水と森公園	上越市大潟区潟町地内	30.9ha (内 0.3ha H19 開園)	28,638	27,055	1,583	106%

(2) 事業計画

①管理運営の基本方針 ～自然体験と歴史のふれあい公園～

a) 貴重な自然を次世代へ

鵜ノ池を中心とする公園内には、希少な動植物が生息・生育しており、この「潟」の自然を次世代に伝える取り組みを行っていく。

b) 「潟」に自然を学ぶ

小・中の総合学習における環境教育の場として或いは、生涯学習の場として、公園が機能するように各種利用団体へ支援を行う。

c) 誰もが潤いを感じる公園

草花に解説板を設置するなど、園内サインを工夫し、誰もがいつでも自然とふれあい、潤いを感じられることができる公園を目指す。

d) 地域の皆さんと共に

地元ボランティアとの協働、体験教室「よろず塾」の開催および、公園利用プログラムの充実を図り、地域のコミュニティの場を形成する。

e) 地域の魅力度を高める

周辺施設とのタイアップにより、大潟周辺地域の魅力度を高めていく。近隣には自然をテーマとした公園があり、それら施設と連携して自然観察会の共同開催など検討を行う。

5 植物園事業会計事業計画

新潟県都市公園条例第15号の3第1項により、県立植物園の管理・運営を当センターが行うもの。

(1) 事業の概要

(単位：千円)

都市公園名	所在地	管理面積	H19 予算	H18 現計予算	増 減	対前年度 比
			額 (A)	額 (B)		
県立植物園	新潟市金津地内	19.8ha	275,900	275,900	0	100%

(2) 事業計画

① 管理運営の基本方針 ～県立植物園が目指す植物園像～

a) 四季を通じて楽しめる魅力的な植物園づくり

本県を特徴づけるツツジ、ボタン、ツバキ、本県の自生植物および水生植物、熱帯ドーム温室の充実

b) 貴重な植物・自然の保全及び自然環境教育の場としての植物園づくり

保全に関する研究、保全活動への技術協力、講習会、展示等の開催

c) 植物に関する情報発信、啓発活動の拠点としての植物園づくり

植物園だよりの発行、ホームページのリニューアル、花と緑の教室の開催、花と緑の相談所の開設、展示ガイドの出版

d) 次世代を担う青少年の活動拠点としての植物園づくり

総合学習支援、子供向け教育プログラムの開発、大学インターンシップ、学芸員実習の受け入れ

e) 世界に通用する植物園づくり

職員の知識、技術の向上、本園の特徴の充実、種子交換や研究成果の公表などを通じた貢献

f) まちづくりと地域振興の拠点としての植物園づくり

ボランティア、友の会活動、花卉園芸産業への貢献、大学、趣味団体、生産者等との連携

② 重点的な取り組み

a) 国内外の植物園との交流、連携強化

b) 植物・園芸に関する調査研究の推進

c) 学校教育、生涯学習支援

d) 「緑の情報の発信基地」(花と緑の教室、緑の相談所、ホームページ等)機能の充実

e) 社団法人日本植物園協会第42回大会、総会の開催

f) にいがた花の国際シンポジウム開催への協力

③ 新たな経営戦略 入館者増のための方策

a) 新潟県の観光拠点としての位置づけ、各種ツアーの企画

b) 自主事業の展開 (春と秋の植物園まつり、みどりの日特別行事「身近な植物の不思議を学ぼう」)

c) にいがた花の国際見本市の開催

6 収益事業会計事業計画

(1) 請負業務

施設名	施工	施工規模	予算額(千円)
緑地修景施設等景観保全	県道新潟停車場線 他10路線 他	41.5km	8,821
南側駐車場管理	新潟市長潟地内	16.0ha	400
鳥屋野潟公園用地管理	新潟市長潟地内	1.4ha	1,700
新潟県都市緑花フェア開催委託	新潟市長潟地内		1,000
合計			11,921

(2) 寄付行為第4条(5)に基づく、物品販売事業等の収益事業

公園名	事業内容
鳥屋野潟公園	① レストランの営業 ② 自動販売機事業 11台 ③ 売店事業 ④ 公衆電話事業 2台
紫雲寺記念公園	① バーベキュー卓利用管理事業 7卓 ② 炊事棟「釜」管理事業 4口 ③ 自動販売機事業 2台 ④ 食堂・売店事業
植物園	① カフェテリアの営業 ② 売店事業 ③ 自動販売機事業 2台 ④ 公衆電話事業 2台
大潟水と森公園	① 炊事棟「釜」管理事業 10口 ② 自動販売機事業 2台
その他	① 図書の販売 「里山の植物」の販売 「ようこそ緑の夢王国」の販売 展示解説書の出版、販売(新規事業)

(3) 指定管理公園内の緑花センター自主イベント開催

自主イベント開催時の物品販売等にかかる事業

公園名	事業内容
鳥屋野潟公園	① 秋のスポーツ公園まつり(10月中旬頃を予定)
植物園	① 「植物園の日」(みどりの日) イベント開催(5月4日, 5日) 植物園協会の補助事業(200千円)を含む。 ② 秋の植物園まつり(10月上旬頃を予定)

7 全国都市緑化にいがたフェア記念特別会計事業計画

「第15回全国都市緑化フェア」実行委員会からの寄付金で行う事業

新潟県が主催、後援するもの及び緑化推進団体が開催する都市緑花イベントを通して、緑花意識の普及・啓発に努めます。

- ・ 春の都市緑花フェア：新潟県スポーツ公園（新潟市）平成19年4月21、22日
- ・ 食と花の世界フォーラム（花の国際見本市）：新潟県立植物園 平成19年6月1～3日
- ・ 秋の都市緑化月間イベント：場所未定 平成19年10月（予定）
- ・ 緑の百年物語フェスティバル：上越市大潟区 平成19年10月(予定)
- ・ フラワーウェーブ新潟：新潟ふるさと村（新潟市）平成20年3月（予定）